

# ドウトツつくろ バリエーションルール 2

## ドウトツくじゃん

人数：2～3人 年齢：8才以上 時間：20分 作：与儀新一  
3つの動物の名前を一気に作ります。大きな役が早上がりか？簡単にできる麻雀のようなゲームです。【難易度★★★】

### 1 ゲームの準備

- 各プレイヤーは動物リストカード1枚を、ノーマルルールの面（ゲームに慣れ、上級ルールのコアルールで遊びたいときはコアルールの面）を表にして自分の前に置き、この面を見ながら遊びます。余った動物リストカードは使いません。
- アとコのカタカナカード（各3枚）は使いません（コアルールのときは使います）。
- 使用するすべてのカタカナカードをよく切り、各プレイヤーは11枚ずつ受け取って手札にします。
- 残ったカードを裏向きの山札にしてテーブル中央に置き、その横を全員共通の捨札置場とします。ゲーム中、捨札置場の下のカードは見られません。山札の枚数はいつでも確認できます。



例1：ノーマルルールの3人プレイ

### 2 遊び方

- 一番最近動物にエサをあげたプレイヤーから、時計回りに手番を行います。
- 手番が来たら、次の①か②のどちらかを行います。
- ②はゲーム中、1人1回だけできます（しなくても構いません）。

#### ① 山札を1枚引き、手札を1枚捨てる

- 山札の一番上からカード1枚を取り、手札に加えます。
- 次に、手札のカード1枚を、表向きに捨札置場に置きます。すでに捨札があればその上に重ね、下のカードが見えないようにします（\*1）。

#### ② 捨札を1枚引き、動物名を1つ公開し、手札を1枚捨てる

- 捨札置場の一番上のカード1枚を取って手札に加えたあと、このカードを必ず使って、手札の中で動物リストカードの動物名を1つ作り、自分の前に表向きに並べます。これを公開札と呼びます（例2）。他のプレイヤーの公開札と同じ動物名を公開しても構いません。



このあと、手札を1枚捨てます

- 最後に、手札のカード1枚を捨てます（捨て方は①の\*1と同じ）。

例2：捨札を引き、パンダを公開した

### 3 ゲームの終了

- 誰かが上がったら、ゲームが終了します。
- ①で山札を引いたとき（例3・5）、または、②で捨札を引いたとき（例4）、すべての手札を使って、動物リストカードの動物名をちょうど3つ作れるなら、上がることができます。同じ動物名を2つ以上作っても構いません（例4・5）。
- 2人プレイのときはさらに、3つの動物名の中に1色のカードでできた動物名が1つ以上あるときだけ上がれます（例3・4・5はこの条件を満たすので上がれます）。
- 自分の公開札がある場合、それは手札にあるものとして上がることができます（例5）。②で捨札を引いて上がることはできません（すでに1回捨札を引いているため）。
- 上がるときは「ドウトツできた！」と言って手札を公開し、1色のカードでできた動物名が2つ以上あれば3点、1つあれば2点、1つもなければ（3人プレイのときのみ）1点を獲得します。

例3：山札から力<sup>カ</sup>を引いて上がり、3点獲得した（1色の動物名が2つ）



例4：捨札ク<sup>ク</sup>を引いて上がり、2点獲得した（1色の動物名が1つ）



例5：山札からッ<sup>ッ</sup>を引いて上がり、3点獲得した（1色の動物名が2つ）



#### 誰かが山札の最後の1枚を引いたら

- その手番の終了後、ゲームが終了します。
- 誰も上がらずにゲームが終了したら、あと1枚特定のカード（\*2）を引けば上がっていたプレイヤーが1点を獲得します（例3・4・5のカードを引く前がその例）。2人以上いるときは、そのうち一番先手だったプレイヤーだけが1点を獲得します。1人もいなければ全員無得点です。
- \*2：ゲーム終了時に、捨札置場か他のプレイヤーの手札か公開札の中にあるカードなら、どのカードでも構いません。

#### ゲームが終了したら

- 最初に手番を行うプレイヤーを、時計回りに交代して、新しいゲームを始めます。
- ゲームをくり返し、累計3点以上を獲得したら勝ちです（1回のゲームで勝負がつくこともあります）。

警告！ 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。  
製作 77spiele お問い合わせ <https://77spiele.jp> ©2023 Shinichi Yogi, 77spiele.

▼裏面は「ドウトツくめくり」ルール